式　辞

校庭の桜の花が、例年より早く咲きほこり、今日のこの良き日を祝福しています。

　９名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、最愛のお子様の卒業を迎えられた保護者・ご家族の皆様、これまで子供達にかけられた愛情の深さに敬意を表しますと共に、心よりお慶び申し上げます。

今、立派な姿で卒業証書を手にした皆さん、この一年間、八竜小学校の最高学年として、本当によくがんばってくれました。不安な日々もあったと思います。胸がはりさけるようなつらい思いもありました。懸命に涙をこらえた時もあったのではないでしょうか。

それでも皆さんは、顔を上げ、前を向き、さわやかな笑顔で八竜小のみんなをまとめ、引っ張っていってくれました。運動会応援団での勇ましい姿、いろいろな行事でのりりしい姿、持久走大会でのひたむきな姿、いつも全力で取り組んでくれた皆さんの姿が思い出されます。

今、教室でこの卒業式の様子を見ている下級生のみんなも、きっと６年生ありがとうという気持ちでいっぱいです。お家の方々もみんなから元気をもらったことがあったのではないでしょうか。坂本の地域の皆様にとっても、みんなの笑顔が毎日の希望になったかもしれません。そして先生方も、みんなの姿から、共にがんばろう、一緒に八竜小学校をとりもどしていこうと勇気をもつことができました。本当にありがとう。

小学校の思い出を胸に、皆さんは中学校へと進みます。この６年間で大きく成長した皆さんですが、いつも周りには友達・仲間がいましたね。互いに力を合わせ、いたわり合い、鍛えあってきた友達の素晴らしさをこれからも大事にしてください。

また、朝の光のように優しく、緑の森のように大らかに、ときには清らかな川の流れのように、皆さんを温かく包み込み育ててこられたお家の方々への感謝も忘れないでください。今伝えたことは、八竜小校歌「未来」に込められている思いです。６年間の思い出と共に校歌「未来」を、いつまでも大切にしてください。

　最後になりますが、今日、八竜小学校を巣立ちゆく９人の卒業生の未来が、明るく輝くことを願いまして式辞といたします。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和三年三月二十四日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　八代市立八竜小学校長　渡辺　泰生